

第3回 光駅拠点整備デザイン会議 会議録

日時：令和2年2月28日（金）18：30～20：00

場所：光市役所3階大会議室1・2号

【出席者】

- ・委員：8人（欠席5人）
- ・アドバイザー：1人（欠席1人）
- ・オブザーバー：3人（代理出席1人）
- ・事務局：6人、ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社：2人

1 開会

2 会長あいさつ

皆さん、こんばんは。第2回デザイン会議では現状と課題、基本的な方向性についてご議論いただいた。今回は、前回に引き続き基本的な方向性についてご議論いただく予定となっている。本日も皆様の屈託のないご意見を頂戴するため、積極的なご発言をお願いしたい。

3 議題

（1）基本的な方向性について

● 会長

議題（1）基本的な方向性について、事務局より説明をお願いしたい。

● 事務局

<事務局より資料1ページ～24ページに基づいて説明>

● 事務局

前回の会議での意見に対して補足説明をさせていただきたい。まず、本会議の位置付けについて、前回の会議では、本会議で決まった内容は関係者間の協議で変わり得るか、というご意見をいただいたが、前回の会議でも申し上げた通り、本会議はあくまでご意見をいただく場であり、会議で出た意見を踏まえて、事務局で案をまとめ関係機関と協議・調整を行うということである。これまでも、関係者間で協議は実施しているが、今後も調整が必要な部分は出てくると考えている。

次に、整備内容としては、バリアフリー基準を満たしたトイレ整備を考えているが、前回の会議でのトイレを先行整備できないか、というご意見については、整備の施工ステップ検討等を行う中での判断となるので、今後も引き続き検討していきたい。

最後に、北口の安全・安心な駅前広場空間の整備について、例えば、照明設備の適切な配置は今後検討していくことになるので、基本構想でも安全・安心に関する取組みの一例として、防犯性ということを念頭に、照明設備の設置促進を示している。利用者の安心・安全という観点は意識して環境づくりに取り組んでいきたい。

● 会長

ただいま、事務局から、整備内容の検討を中心とした基本的な方向性について、前回よりも詳細に検討された部分や、新たに検討された内容などの説明があった。これに関して、ご

意見・ご質問などあれば、お願いしたい。

● **委員**

南口ロータリーへの東側からの通過交通を遮断する、とあるが、現在も周辺で生活する人や事業者が使用しているルートである。通過交通を遮断した場合、どのように交通が維持されていくのかについて、何か考えはあるか。地域で生活されている方への影響に対する調整も必要だと思うが、お考えをお聞かせいただきたい。

また、駐輪場は駅東側に大きく円で示されているが、駐輪場の位置としてある程度具体性があるものなのか。

● **事務局**

広場内への通過交通については、様々な書物でも、駅前広場には安全上、通過交通は入らないようにすることが望ましい、とされており、光駅前広場についても、その考えで県警や公安委員会とも協議をしている状況であるが、生活への影響というご意見も踏まえて、今後、検討していきたい。一方で、東側からの通過交通については、そのほとんどが、線路の北側から西河原第二踏切を渡った後、右折して広場へ流入してくるといった抜け道としての利用が多いと考えており、令和1桁台で瀬戸風線が開通すると示されていることから、開通に伴い車の流れが大きく変化するのでは、という思いも持っている。この変化も見極めながら、引き続き、県警や公安委員会と協議していきたい。

● **事務局**

東側からの通過交通遮断は、あくまでロータリー内の安全確保のための1つの手法として考えており、決定事項ではなく、今後、関係機関等との協議・調整や意見などを踏まえて検討していくものである。ロータリーがどうすれば安全になるのか、また、地域の方々にとってどのようになるのが望ましいのか、などを総合的に考えていきたい。

● **オブザーバー**

南口ロータリーの出入口となる国道188号との交差点について、管轄である山口河川国道事務所とも話をして交通処理を議論してほしい。

● **会長**

各案について事務局の評価が記載されているが、ご意見はあるか。

● **委員**

現在のロータリーは、デッドスペースも多いと思うので、ロータリーとしてこんなに広いスペースは必要なく、例えば半分駐車場やタクシー待機場にするなども考えたらよいと思う。

● **委員**

デッドスペースと指摘されているのは、現行ロータリーの島の部分だと思うが、整備案としては、資料9ページに示す内容の乗降場等を整備したいと考えている。ご指摘の部分も含めて配置等を検討していきたいと考えている。

● **会長**

自由通路は、地元コミュニティ協議会として、ぜひ西側に整備をお願いしたい。毎年、津波を想定した避難訓練を行っているが、虹ヶ丘跨線橋へ上がることが避難の障害となっている。駅付近の避難場所では、虹ヶ丘公園があるが、駅西側に自由通路が新設されると、自由通路と道路を渡ってすぐに公園があるため、避難距離が短くなる。このような安全性の観点からも西側に整備をお願いしたい。

● **委員**

駅施設の配置案が示されており、駅施設の部分はJR所有の範囲となると思うが、費用の配分を教えてほしい。JRがいくらか出すのか、市が全額出して整備するのか。

● **事務局**

事業費負担は、国が定める自由通路整備要綱などをもとに、今後、JRと協議・調整を行っていくため、現段階ではお答えできない。

● **オブザーバー**

自由通路整備要綱について大まかに説明すると、国土交通省がJRと指針を定めたものである。ここでいう自由通路とは、一般市民が安全に鉄道を横断できる道路と位置付けられている。自由通路についてJRは支出しないというのが基本方針である。駅舎についても、自由通路を整備するために駅舎に支障になるのであれば、補償の中でこういった部分も含めて行政が負担するというような内容となっている。

● **委員**

せっかく駅周辺整備をするのであれば、駅自体の必要機能を考えれば、駅施設は最小限として、南北自由通路をはじめとした、一般的に駅と呼ばれるエリアがより良くなっていくように検討してほしい。

● **オブザーバー**

光市には、今後3点ほど検討・整理してほしい事柄がある。

1つ目は、駅周辺整備の検討と、にぎわい・交流をどのように関連付けていくかということである。民間活力を活用していくという記載はあるが、具体的にどうやって人を集めて、流れを生み出すかという観点から、今後、整理を進めてほしい。

2つ目は、光駅周辺は、立地適正化計画の都市機能誘導区域に指定されているが、整備により、具体的にどのように都市機能を誘導してくるかを示してほしい。

3つ目は、上位計画である基本構想についてである。基本構想では、虹ヶ浜までの広い範囲について示していたが、今回はその中から駅だけを検討している。なぜ、今回駅だけをピックアップしたかを整理してほしい。

● **事務局**

基本構想は、光駅を中心に約500mの範囲を対象とし、その範囲内でのまちづくりということで掲げた計画である。駅と海が近いというのは、光の特徴でもあるので、その繋がりを持たせていきたいということを述べている。駅周辺のバリアフリー化が急がれることから、駅周辺については、構想の中で短期の取組みに位置付けており、整備に向けて駅に着目して自由通路やロータリーを検討している。検討の中では、例えば自由通路の設置位置の検討などでは海を意識した施設配置とするなど、全体構想とのつながりを持たせている。

立地適正化計画の都市機能誘導区域との関連性については、例えば、交流施設や大規模小売店舗を光駅周辺から島田市にかけてエリアに誘致してくるなどを考えている。

民間活力によるにぎわい創出としては、民間に来てもらえるよう、今後、検討していきたい。

● **オブザーバー**

今後、にぎわいの視点からも具体的に議論してほしい。

● **委員**

トイレについて、新設する可能性があれば、資料 24 ページの図に示されている、交流広場と南口ロータリーの中の青い丸で囲まれたエリア付近に整備してほしい。エレベーターも交番も近く位置的にはとても使い勝手が良いので、最高のトイレができれば良いと思う。治安も良く、明るいトイレにできると思う。

交流広場のイメージがあれば教えてほしい。例えば、倉庫兼の建物等の簡単なハコモノがあれば、交流広場で開催されるイベントの事務所や案内所など多用途に使えるのではないかと思う。

● **事務局**

トイレについては、新設する方向で考えている。設置場所は検討中であるが、ご意見を踏まえて考えていきたい。交流広場については、イベントの開催等も利用の想定として挙げているが、色々な可能性を模索していきたいと考えており、ご意見いただいた建物については、こういった形がいいのか、検討していきたい。

● **委員**

にぎわい創出のための大規模小売店舗の誘致は、この場で考えるだけではダメだと思う。他の部署も巻き込んで考えていかないといけない。近年では、お店を呼んできたら良いというものはなくなってきている。

● **事務局**

市内部では、他部署も集まる会議の場で本件についても議論しており、駅周辺整備に関しては、議会での議決案件でもある。店舗誘致については、ご指摘の内容も重々承知のうえ進めていきたい。

● **オブザーバー**

北口ロータリーには、バスを入れられないということだが、現況のバス停は北口の東側にある。このバス路線について教えてほしい。

● **事務局**

交差点東側にある線路側のバス停は、交差点から一定の距離を離れた位置に設置されている。バスは、JRバスと防長バスが運行しており、バス停から交差点を右折し、山側に向かっていき、光総合病院に向かうもので、光総合病院へ行くために新設されたルートである。ぐるりんバスは、線路側のバス停が信号交差点よりも西側に設置されている。この路線は西側エリアの団地方向に向かう。瀬戸風線が開通すると、国道 188 号にランプ形式で着地し、下松方面に繋がる予定であるので、これを視野に入れて路線等は検討していきたい。

● **オブザーバー**

バス停が現在の位置のままだと、自由通路が西側に整備されると、病院行きのバスに乗るためにかなりの距離を歩くことになるが、高齢者の利用を考えると、それで良いのかという印象を受ける。

● **事務局**

乗合バスがロータリーに入ることができれば良いが、土地とコスト面の制約が大きい。

● **オブザーバー**

病院方面のバス路線のために、例えば、駅前広場内と別の場所でも転回場を設ける、バックで広場に入るなど、何かしら対策するべきだと思う。

● 会長

団地の方からでも病院に行けるルートもあるのでは。

● 事務局

団地の方からのルート等も考えられるが、走行距離が長くなるので運賃が高くなる。そうすると利用者の負担が大きくなってしまう。また、この問題は事業者と協議しなければ決められない内容である。

● オブザーバー

駅との乗り継ぎの際の歩行距離を現況と整備後でそれぞれ示してほしい。また、南口ロータリーに関して、必要面積が5,000㎡程度となる数量根拠はあるのか。資料に示されている、整備台数が数台程度という内容では、5,000㎡必要か分からないし、納得できない。バスは時間的に見ると、1バースでも良いように感じる。駅前広場を拡大する必要があるのか分からないので、次回でも良いので示してほしい。

南口ロータリーの西側からの流入はどうするのか。広場として歩行者、自転車からの安全性から考えると、乗り入れは国道188号からのみで良いのではないかと。

● 事務局

南口ロータリーの西側へのルートは、駐車場への動線として、信号交差点から進入をさせていくともと考えている。施設規模は、今後、整理して説明していきたい。バスは同着する時間帯もあるので、必要バース数は事業者とも協議しているところである。

● オブザーバー

まちづくりとしては、にぎわいや交流、活性化という言葉はNGワードとして考えてほしい。にぎわいとは、多様性のあるものだが、にぎわいという言葉は、誰が何をするのか非常にあいまいなもので具体性がなく、駅西側の交流施設もどうなのか、というのは疑問に感じてしまう。

● 事務局

南口ロータリーの西側は、民間活力の導入によるにぎわい創出を考えている。

● 会長

具体的に説明していく必要があるということなので、使用する用語も検討してほしい。アドバイスを踏まえて対応してほしい。

● アドバイザー

オブザーバーからのご指摘で、NGワードがあったが、これは行政が言葉を考えるものなので、委員の皆様は気にせず発言してほしい。にぎわいや活性化に具体性を持つということを次回から皆さん意識して議論できれば良いと思う。

資料3ページに課題が挙げられているが、本日の会議でどこまで汲み取ることができたか。低コストでなければならないということが、行政の縛りになっている。

まず、今回の会議では、多大な費用をかけ、鉄道に手を加えてまで広場を拡大することはしないという方針で行政案があることを委員の皆様も認識しておいてほしい。そのうえで、駅前広場や自由通路の関係の案が出てきて、南側の虹ヶ浜海岸まで一直線につなぐ軸線にしようという案が支持されている。ここに軸線ができることによる、にぎわいや活用のされ方は、今後、検討が必要である。

課題の1つ目である安全については、今回の資料で対応策を検討している。課題の2つ目の交通結節点については、瀬戸風線開通による交通の変化など不確定要素がかなりあるとい

う前提で議論しているということを認識せざるを得ない。課題4つ目、5つ目は、具体性が薄いので、もう少し詰めていく必要がある。鉄道を動かしてまで整備はやらないということは、選択肢として無くなったと思うが、このような内容はこの場で議論すべき内容である。また、それにより北口ロータリーには、乗合バスが転回できないということで、小さいバスでも良いから転回できないか、駅直近の広場とは別の場所に転回場が必要などの意見については、発言の意図を汲んで、どういった調整ができるかも含め、検討していただきたい。

課題になっていたことに対して、様々な意見が出てきて、案としての方向性を示されたが、委員の皆様が議論しやすいように資料を組み立てることに加え、解説なしにはわからない部分もあるので、このあたりを意識して進めていただきたい。

● 会長

以上をもって本日の議事はすべて終了させていただく。

4 その他

● 事務局

次回の会議については、年度内の開催を考えていたが、本日、光市として新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月31日までの市主催のイベント等については、原則中止または延期する、といった方針が出されたため、今後、状況を見極めながら、日程については改めて事務局から連絡させていただく。

5 閉会